



令和3年度（補正予算）独立行政法人福祉医療機構

社会福祉振興助成事業

子ども・若者の「場」拡充支援事業 レポートセッション

内容	ページ
説明「子ども・若者の「場」拡充支援事業」 青森県社会福祉協議会 社会貢献活動推進室	P2～
説明「子ども・若者育成支援」 青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課 副参事 上野 茂樹 氏	P9～
報告「子ども・若者の「場」拡充支援事業」実施団体報告 ①株式会社IMS ②NPO法人ワーカーズコープ 工藤 克祥 氏 ③森 岩樹 氏 ④特定非営利活動法人あおばの会 類家 順子 氏	P15～ P23～ P32～ P34～
説明「場」「関わり」の継続を支えるために 各種助成事業等の活用について	

主催 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

この資料は、令和5年3月7日に開催した報告会の資料をまとめたものです。

子ども・若者の「場」拡充支援事業

中高生世代や若者対象の「場」を拡充したい個人や団体の活動を募集

例) 社会とのつながり、多様なスキルや経験を育む「場」
アウトリーチや訪問など、新たな出会いを作る活動

ワークキャンプ



音楽やアート体験



短期合宿

ものづくり体験



スポーツ活動

職場体験



オンライン活動

eSports



調理体験



社会見学

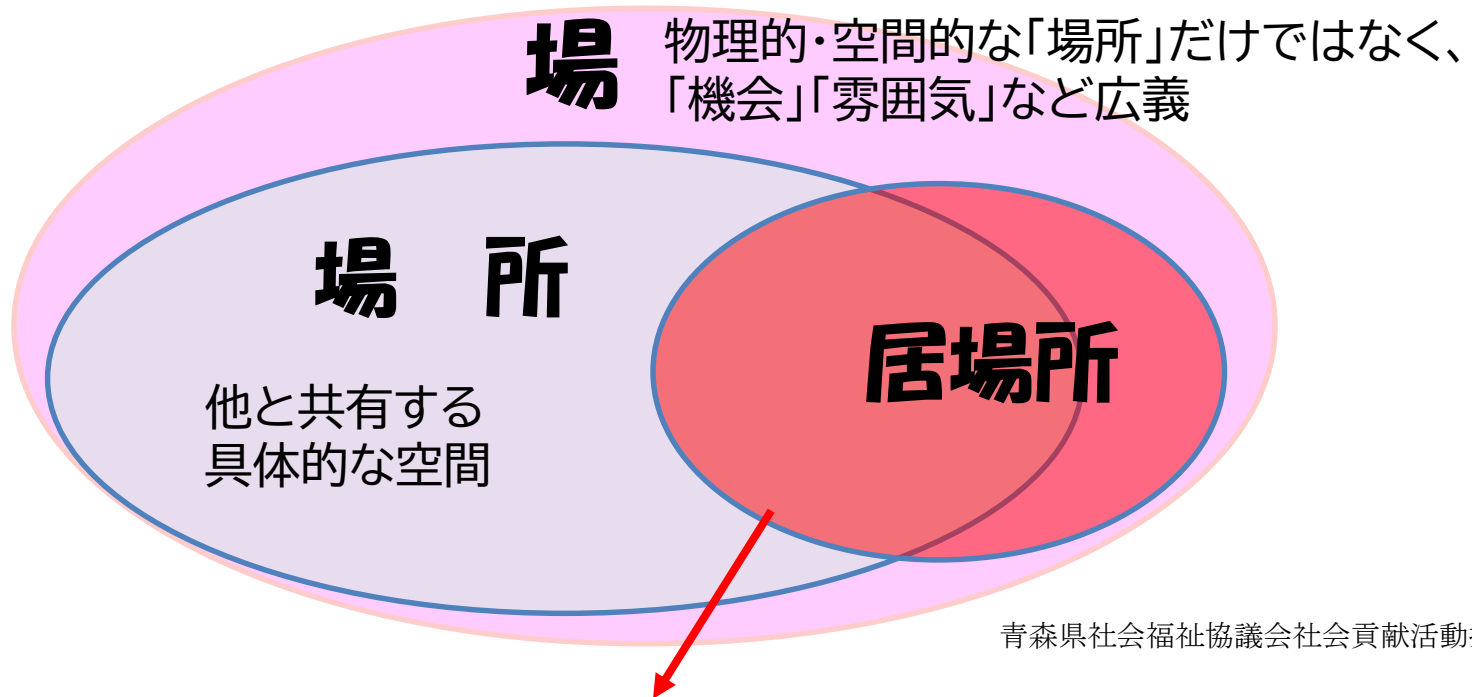
農業体験



社会福祉法人青森県社会福祉協議会

社会貢献活動推進室

「場」「場所」「居場所」



青森県社会福祉協議会社会貢献活動推進室整理

- ・ 「学校に居場所があったか」
⇒ 相談できる場所、休める場所、安心できる場所
- ・ 「出所しても居場所がない」
⇒ 自らの存在を承認される場所

具体的な空間の場でも、架空の空間の場でもよいが、“ここが私の居場所”となるのは、簡単なことではない

複数のいろいろな「場」が必要

「第3の場所」「サードプレイス」

Ray Oldenburg

家庭

学校や職場



…でもなく



…でもなく

誰でも
受容

楽しい
会話が
メイン

平等・中立
オープン

アクセス
しやすい

人とのつながりや安らぎを感じることができる空間
その場で自分の価値や役割を発揮する場所
地域全体の課題解決の場所

参加の
義務が
ない

居心地が
よい

無料
または
安価

食事や
飲み物が
ある

「みんなの居場所」の登録及び情報提供 ネットワークの仕組みを作りました！

2019.4月
スタート

地域のつながり



食の楽しみ



居心地のよい
楽しい場所



世代間交流の場



学習の場の提供



介護予防



「こども食堂」「認知症カフェ」「〇〇サロン」
「ユニバーサルカフェ」等々 **登録・公表62ヶ所**

生きがいがづくり



子育て支援



相談できる場所



安く食事ができる



地域の活性化



仲間づくり



●2018.2「こども食堂開設セミナー」以降、「子どもの居場所ネットワークミーティング」「子どもの居場所づくりコーディネーター養成講座」「みんなの居場所実践表会」等開催。

●「居場所」の新規立上や、運営・再開の相談に対応

「みんなの居場所」

＝公的な制度の延長線上で実施されている場合もありますが、
基本的には公的な制度上のものではありませんので、
厳密な定義はありません。

●いわゆる「こども食堂」とは…

地域のボランティアが子どもたちに対し、無料又は安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取組（子供に限らず、その他の地域住民を含めて対象とする取組を含む。）～文科省及び厚労省通知から～

●「認知症カフェ」等とは…

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有しお互いを理解し合う活動～厚労省「認知症施策総合戦略」～

●「ふれあいきいきサロン」とは…

地域にお住まいの住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動～全国社会福祉協議会～

「みんなの居場所」のいろんな形

コミュニティ形成志向（地域のつながり）

ふれあい
いきいきサロン

共生サロン

居場所の目的

ターゲット限定

対象者

ターゲット非限定

デイ
サービス

保育所

職場
学校

朝食サロン

ひきこもりや
不登校の人の
サロン

生活困窮世帯や
ひとり親家庭の
学習支援の場

問題解決志向（利用者支援）

子ども・若者の「場」拡充支援事業

を募集しました



ターゲットは
中高生世代から30代



①「子どもの居場所」のほとんどのターゲットは小学生以下で、取り組んでいる人の数が少ない



②小学生以下の子は、保護者の同意の下に参加していることがほとんどだが、中高生以上になると、本人の参加意思がないとつながることは難しい

若者との「つながり」の難しさ

「貧困」だけが問題ではないですが…

日本の(相対的)貧困率の高い年代は、
20-24歳、15-19歳。
※70代の男性よりも貧困率が高くなっている。

社会福祉制度の子どもは～18歳。
乳幼児や小学生以下の支援が多く
思春期以降の支援は限定的

行政や社協の窓口に
この年代の人がどれだけ
相談にきているだろうか？

- ・そもそも、情報を知らない
- ・恥ずかしさ

家庭的な困難を抱えていない若者でも…

中高生時代や青年期の失敗の体験、うまく物事が進まなかった経験は、本人の自信や自尊心の低さに長らく影響を与え、その後の就職や社会生活を困難にしている場合が多い。



「つながりたい」「変わりたい」
半分、あきらめて…半分、信じている

これまでの福祉的な「居場所」と若者たちの現状

交流目的

こども食堂・ユニバーサルカフェ
サロン・認知症カフェ



回りの目が
気になるし…

知らない人と
一緒なのは苦手



支援目的

学習支援・生活支援・就労支援

助けてあげます
って感じがイヤ!

そこまで
困っていませんよ!



「居場所」の効果も、本人たちの興味も高いのだが…

- ①参加しない
- ②参加が続かない
- ③「孤独・孤立感」が逆に生まれやすい

いろいろなアプローチで、若者たちの「場」を拡充したい

子ども・若者の多様な居場所拡充支援事業

(コロナ禍における生活困窮者及びひきこもり支援に係る民間活動助成)

柱立1 子ども若者の居場所の開設相談対応

柱立2 関係機関連絡会議の開催

★ 柱立3 若者対象の居場所等の実施支援

柱立4 居場所の「入口」拡大のためのアプリ等の開発

柱立5 居場所の「出口」開発支援

★ 柱立6 居場所の効果検証


👉 皆さんの活動が、今後の若者対象の居場所づくりのヒントになることを期待して…

応募書類は、たった1枚の「企画提案書」だけ

採択させていただいた活動一覧

No	申請者	活動概要(県社協によるまとめ)
1	株式会社I・M・S(青森若者サポートステーション)	簡単クッキング教室
2	株式会社I・M・S(弘前若者サポートステーション)	りんご収穫体験
3	森 岩樹	1日カフェ運営
4	特定非営利活動法人あおばの会	フリースペースの拡充
5	NPO法人ワーカーズコープ	音楽イベントの開催
6	社会福祉法人七戸福祉会 幼保連携型認定こども園 城南こども園	夏祭り

青森県社会福祉協議会 社会貢献活動推進室は
多種多様な主体が、具体的な行動を通して
地域の課題解決を実現する社会貢献活動を支援しています



青森県内の社会福祉法人が連携して
制度の狭間の課題を解決する

社会福祉法人の社会貢献活動

青森しあわせネットワーク

社会福祉施設での就労体験・社会参加活動

ワークサポート




えっ!?
福祉施設で
一日
千円
もらえるの?!

みんなの「居場所」
&子どもの「居場所」



あおもり
こどもの居場所
ネットワーク

あおもり「みんなの食堂」と
農林水産業のネットワーク



こども宅食
“おすそわけ便”

青森県社会福祉協議会ホームページ「福祉ネットあおもり」
<http://aosyakyō.or.jp/>のトップページから参照ください

社会福祉法人
青森県社会福祉協議会
社会貢献活動推進室

〒030-0822
青森市中央3丁目20番30号
県民福祉プラザ2階
電話 017-723-1391
FAX 017-723-1394
shiwase@aosyakyō.or.jp

子ども・若者の「場」拡充支援事業 レポートセッション

子ども・若者育成支援

青森県環境生活部青少年・男女共同参画課

令和5年3月7日（火）13時10分～

0 はじめに

居場所とは

若者が参加でき、存在が認められ、
安心して発言できる（発言しなくてもいい）場



(若者の)サード・プレイス

0 はじめに

本日の取組紹介の**キーワード**

「つくる」：居場所を実際につくる

「知らせる」：居場所の情報を伝える

「(一緒に)探す」：合う居場所を見つける

0 はじめに



つくる

若者のサード・プレイスづくり事業

知らせる

あおもり子ども・若者支援機関マップ
及び子ども・若者総合案内

(一緒に)
探す

子ども・若者の悩み『なんでも相談会』

1 居場所をつくる ー若者のサード・プレイスづくり事業

- 困難や生きづらさを抱える若者が社会的な孤独や孤立に至らないよう、若者が参加し、存在が認められ、安心して発言できる、ネット上の場(サード・プレイス)づくりとそれを支援していく人財育成に取り組む。

取組 1 サード・プレイスづくり事業

- ① サード・プレイスに係る検討会議・ワークショップ
- ② **バーチャル(ネット)上でのサード・プレイスづくり**

取組 2 地域支援体制の強化

地域でのサード・プレイスづくり、困難を抱える若者の支援に係るノウハウの蓄積や人財の育成、ネットワーク化に取り組むための研修会の開催。

1 居場所をつくる ー若者のサード・プレイスづくり事業

令和4年度実績

項目と内容	回数等
検討会議 有識者5名による配信内容等の検討	5回
ワークショップ 若者の声を配信に反映させる	5回
ネット上でのサード・プレイスの配信 配信に参加する（投稿） 配信からリアルに参加する	5回 (パーソナリティ：中島美華さん) (7人出演)

2 居場所を知らせる

ーあおもり子ども・若者支援機関マップ 及び子ども・若者総合案内

- 困難を有する子ども・若者に関する相談窓口や専門機関を紹介することを目的に、マップを配布している。平成25年11月に初めて作成し、その後、毎年度末に、改訂している。
- 不登校、ひきこもりなど、困難を抱える子ども・若者やその家族に対し、悩みに応じた適切な相談機関を紹介するための「子ども・若者総合案内」電話を青少年・男女共同参画課内に開設している。
- 相談窓口や専門機関の周知を含め、子ども・若者支援の情報発信のため、SNS広告を配信している。



2 居場所を知らせる

ーあおもり子ども・若者支援機関マップ 及び子ども・若者総合案内（SNS広告）

 青森県_子ども・若者... @chiikidesa...
人との関わり方、
今はまだ、立ちどまって考えたい。
この思いを誰かに話せるなら...


青森県には、さまざまな支援機関や
相談窓口があります。

秘密は厳守いたします。




www.pref.aomori.lg.jp
こたえのない夜をこえて。






   


 青森県_子ども・若者相談窓口 @chiikid...
人との関わり方に悩んでいる。
今いる環境になじめない。

それぞれの悩みや心配ごとに合わせて
相談場所の情報、相談会のお知らせ、
いるだけでいい、ネット上のサードプレイス
など、いろいろなコンテンツを掲載中。HP
はこちらからどうぞ↓



aomori.lg.jp
いろいろなコンテンツを掲載中

  2  3  7.6万 

 プロモーション

3 居場所を（一緒に）探す

一子ども・若者の悩み『なんでも相談会』

- 多くの相談支援機関が一堂に会する「ワンストップ」が可能となる相談会を、津軽・県南・下北の県内3地域で、年1回実施している。
- 津軽：11月11日（金）10:00～16:00
県南：11月19日（土）13:00～19:00
下北：11月8日（火）10:00～16:00

(実施済み)



相談無料

青森県子ども・若者支援地域協議会
子ども・若者の悩み

津軽地域

『なんでも相談会』

子どもや若者（またはそのご家族）が抱える様々な悩みを、なんでも相談できます。
相談内容に合わせて、複数の専門相談員がチームで支えます。
ご家族だけでもお気軽にご相談ください。



日時 11月11日(金) 10:00～16:00

以下の時間帯で相談できます。（相談時間50分 / 原則予約制）
①10:00 ②11:00 ③13:00 ④14:00 ⑤15:00
※予約なしでの相談は、お待ちいただく場合がございます。
申込期限：11月4日（金）

場所 五所川原市民学習情報センター 第1・2教室
(青森県五所川原市一ツ谷503-5)

こんな悩み抱えていませんか？各分野の専門家が対応いたします！

子どもが学校に行けなくなりました…	人付き合いが苦手	何もせずに、家にひきこもっている
仕事をしたいけれど、不安が大きくて…	自分は他の人と違うんじゃないか…	生活費を稼ぐだけでも精一杯

当日は、新型コロナウイルス感染症予防をしっかりとって開催いたします。お集まりの際は、マスクの着用・手洗いや消毒にご協力ください。お集まりによっては、相談会を中止する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

相談予約・問合せ先

青森県 環境生活部 青少年・男女共同参画課
【担当】 山内・鈴木
〒030-8570 青森市長島1-1-1

☎ 017-734-9226
【受付時間】 9:00～17:00



本日は、

ありがとうございました。

御支援と御協力

よろしくお願ひします。

令和4年度子ども・若者の「場」拡充支援事業

自立への第一歩 包丁を使わない簡単クッキング 実施報告

主催：株式会社 I・M・S

社会福祉法人青森県社会福祉協議会・株式会社I・M・S共催イベント

包丁を使わない簡単クッキング

家めし

2022年12月2日(金)
10:00~13:30
(受付 9:30~)

会場 東奥日報新町ビル「New's」2階
キッチンスタジオ e-TO
(青森市新町2丁目2-11)青森駅より徒歩5分

参加費 無料
対象者 中高生世代から概ね30代

締切 2022年11月25日(金)
※定員になり次第、締切とさせていただきます。

特典

- 1 実食用と持ち帰り用お弁当2つ
- 2 キッチングッズをプレゼント♪

自立への第一歩

イベント内容

初心者でも簡単に作れるお弁当と一緒に作りませんか？作ったお弁当を家族にも試あってもいい、自分で料理をすることの楽しさと喜びを一緒に体験しましょう。

講師



一般社団法人発酵美人協会
代表理事
三和 文子 (みわ あやこ) 氏

(一社)日本インナービューティーダイエット協会講師を経て、青森県弘前市にて料理教室を始める。発酵を取り入れることで子供のアトピーが完治したことから、年間150名以上の生徒に発酵の素晴らしさを伝えている。



※食物アレルギー対策は行っておりません。アレルギーをお持ちの方は、ご自身の責任でご参加ください。
※当日は、マスクの着用をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、延期または中止となる場合もございます。
当日は検温を実施し、ご参加を控えていただく場合もございますので、予めご了承ください。



お申込み・お問合せ

主催/あもりのキャリアの会社 株式会社I・M・S
〒036-8182 弘前市土手町134番地8
TEL/0172-32-5801
共催/社会福祉法人青森県社会福祉協議会 社会貢献活動推進室

メールでのお申込みの場合

・お名前(ふりがな)
・性別 ・年齢
・ご連絡先電話番号
をご記入の上、下記メールアドレスまで送信。こちらから確認メールをお送りいたします。
E-mail: kashiwagi@ims-hiroasaki.com

【申込みフォーム】



開催目的、内容

- ・ 目的：社会との繋がりを求めている若者が社会参加をし、後に職業的自立支援に繋がるよう、就労支援よりハードルを下げた温かな交流の場をつくる。
- ・ 内容：初心者でも簡単に作れる料理を学び、家事を手伝うきっかけをつくるとともに、仲間とコミュニケーションを図りながら協力して作業する。

開催概要

- ・日 時: 令和4年12月2日(金) 10:00~13:30
- ・場 所: 東奥日報新町ビル「New`s」2F キッチンスタジオe-TO
※青森駅から徒歩9分、市営バス「県庁前」下車徒歩4分
- ・講 師: 一般社団法人発酵美人協会
代表理事 三和文子(みわ あやこ)氏
- ・定 員: 12名
- ・参加者: 12名(男性9名・女性3名)
※その他、自立訓練事業所SUN 職員1名

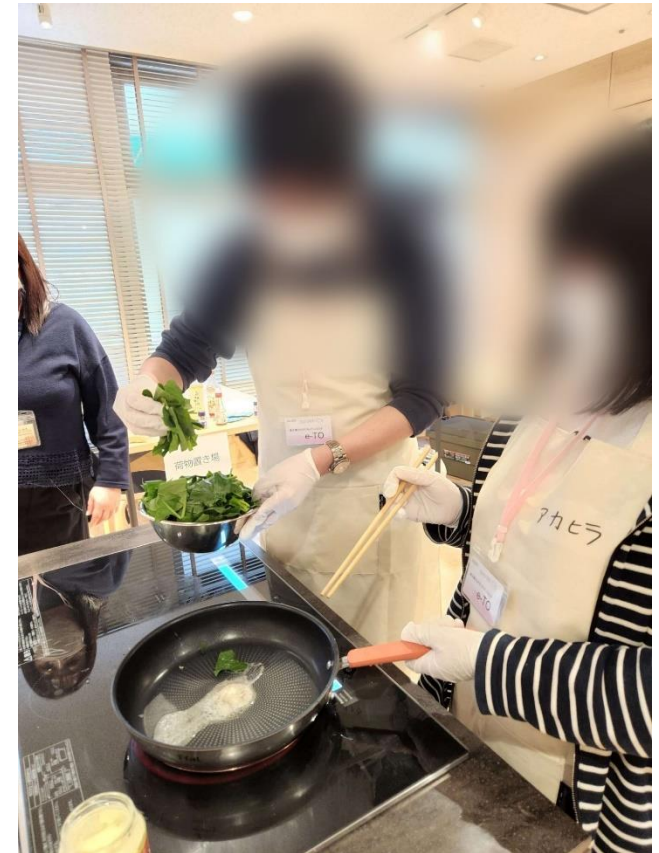
イベントの様子①～共創

あおもり若者サポートステーション
(通称:サポステ)の利用者様が、就
労前の社会参加活動として、会場
設営、受付、来客案内等を行う。



イベントの様子②～助け合い

それぞれのチームが協力して、2時間で6品を調理。



イベントの様子③～分かち合い

1人2つ（実食用と持ち帰り用）
の彩り豊かなお弁当が完成。

コロナ感染対策のため、**黙食**。



イベントの様子④～交流

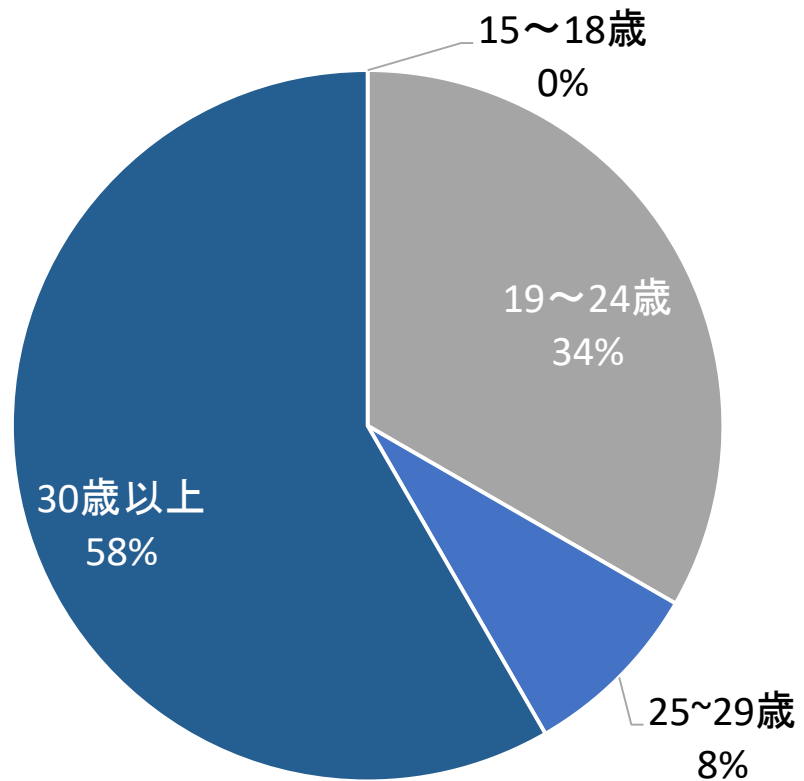
実食後、あおもり若者サポートステーションの利用者様が企画をした交流会(栄養クイズ・人狼ゲーム)を実施。

※人狼ゲームとは、みんなであるお題について制限時間内に雑談をして、その雑談の中で「みんなとは違うお題」を与えられた少数派の人を見つけ出すというゲームのこと。

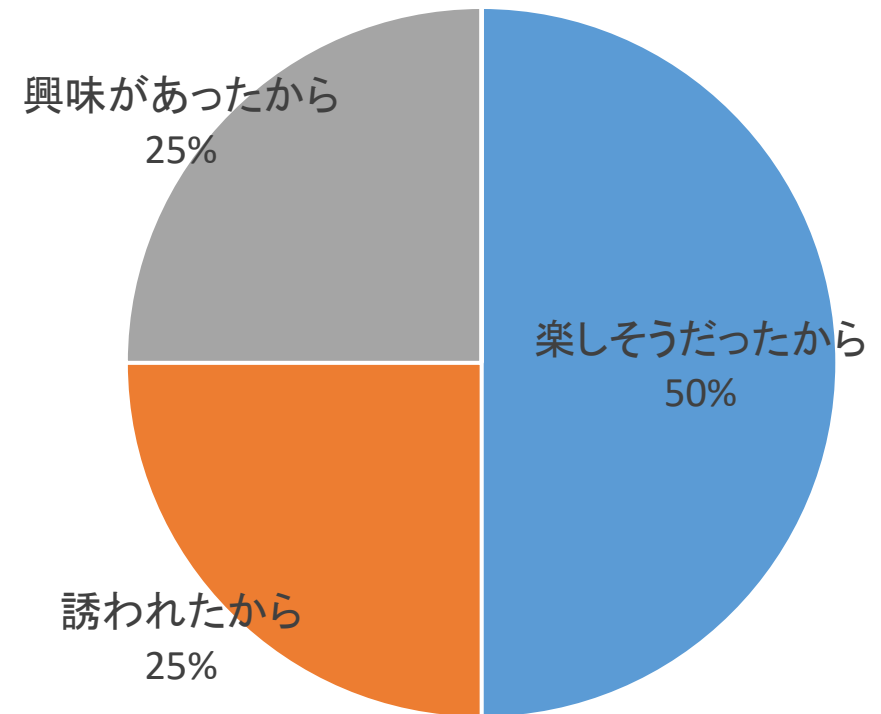


アンケート結果

年代

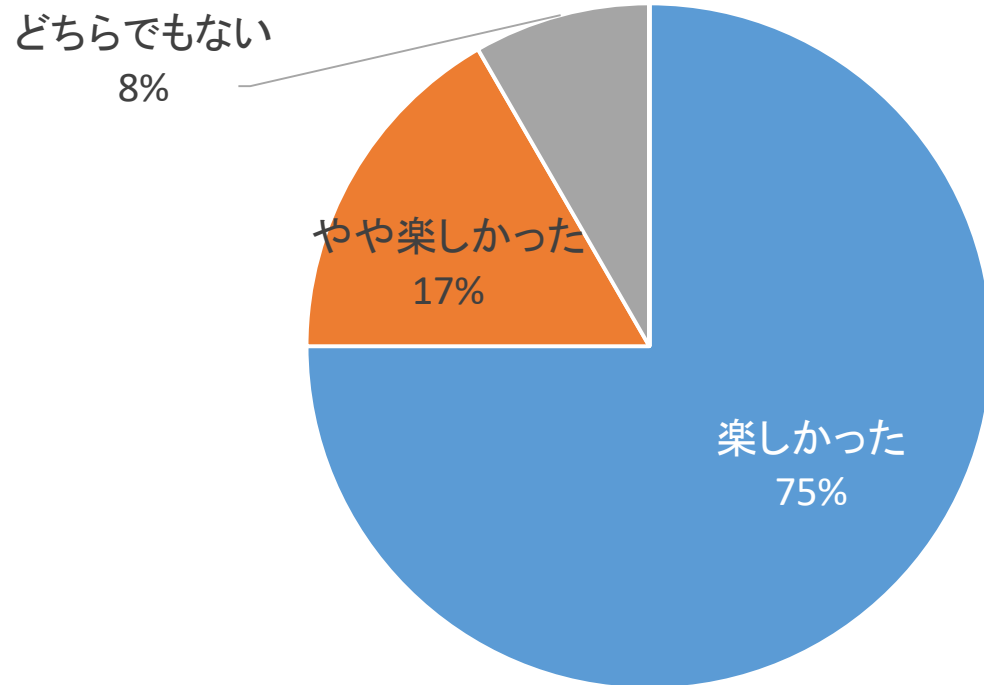


参加理由

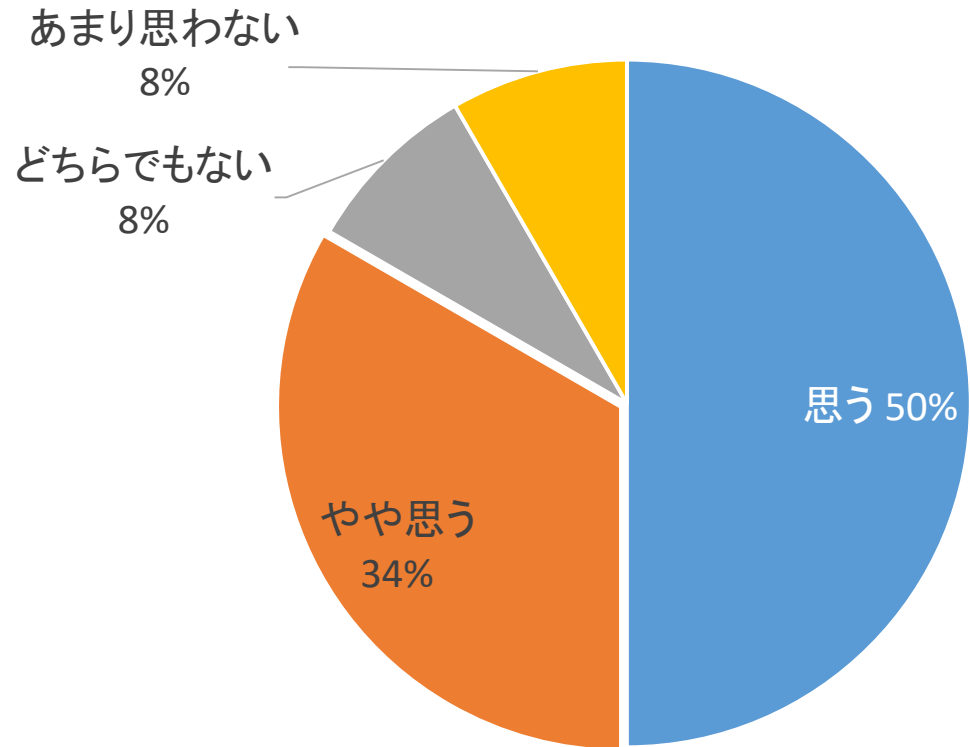


アンケート結果

参加してどうだったか



また参加したいか



参加者の感想

- ・参加して楽しかった。
- ・キッチンバサミを使って料理をすることは便利で楽なので、実践していきたいと思った。グループワークでは消極的な人が多い印象を受けました。
- ・家でも自分から料理にチャレンジしてみようと思った。
- ・コロナ禍でなかなかイベントが出来ないなか、貴重で楽しい会でした。また機会があったら参加したいと思っています。
- ・絶対参加したいと思うし、皆さん楽しそうでよかったです。また待ってます。
- ・超凄かったです。
- ・チームで協力して一つのものを作る作業が出来てすごくよかったです。チームで自分の役割があって楽しかったです。
- ・チームで協力してお弁当を作って楽しかった。家でも作ってみようと思った。
- ・料理の前のレシピの説明はいらないと思う。作りながらで良かったと思う。少数派ゲームおもしろかった。

令和4年度子ども・若者の「場」拡充支援事業

自立への第一歩 りんご収穫体験会 実施報告

主催：株式会社 I・M・S



自立への第一歩
**りんご収穫
体験会**
令和4年
11月4日(金)
13:00~15:00(受付/12:45~)
場所：みんなのりんご園
(弘前市新里字中平岡146-1)
定員：10名程度
対象者：中高生から概ね30代
締切：令和4年10月31日(月)

参加無料
送迎あり


【当日の流れ】

12:45 受付開始
↓
13:00 自己紹介
↓
13:10 作業内容説明
↓
13:20 作業開始
↓
14:45 交流会
↓
15:00 終了



 <p>山本 昇 NPO法人障害 障がい児者を支 えるみんなの会 会長、一般社団法人 弘前活性化 センター 代表理 事。人と人との繋がりを大切に、障が い者の方々のお手伝いと地元弘前を 元気にするための活動を展開中。</p>	 <p>梶井 優子 津軽アツマルシェ 代表、NPO法人 障害障がい児者 を支えるみんなの 会副会長。平川市 在住。 緑の大地からはじまる人との出会い、 人とつながる農園づくりを目的に、障 がい者、高校生ボランティアなどの農 作業体験を中心に支援活動を行う。</p>
--	--

下記いずれかの方法でお申し込みください。※定員になり次第、締切とさせていただきます。

- ①申込フォームQR 
- ②メールでの申込み
・お名前(ふりがな)・性別・年齢
・メールアドレス・ご連絡先電話番号
をこちらのメールアドレスへお願いいたします。
✉ kashiwagi@ims-hirosaki.com

お問い合わせ先
あもりのキャリアの会社 株式会社 I・M・S
〒036-8182 弘前市土手町134番地8 TEL: 0172-32-5801
共催：社会福祉法人 青森県社会福祉協議会 社会時貢献活動促進室

開催目的、内容

- ・ 目的：社会との繋がりを求めている若者が社会参加をし、後に職業的自立支援に繋がるよう、就労支援よりハードルを下げた温かな交流の場をつくる。
- ・ 内容：青森県の基盤産業であるりんご作りを通して、仲間とコミュニケーションを図りながら協力して作業する。

開催概要

- ・日 時： 令和4年11月4日(金) 13:00～15:00
- ・場 所： みんなのりんご園(弘前市新里字中平岡146-1)
- ・講 師： NPO法人難病障がい児者を支えるみんなの会
会長 山本 昇 氏
- ・定 員： 10名程度
- ・参加者： 4名(男性3名・女性1名)
※19～24歳:3名、25～29歳:1名

イベントの様子①

参加者全員で1本の木の収穫作業を実施。



イベントの様子②

収穫後は選果作業も体験。



参加者の感想

・参加して楽しかった。

・自分の経験が誰かの役に立つことがわかった。人に教えるのは楽しかった。自分の自信に繋がった。

・小学生ぶりの収穫体験だったが意外とできた。楽しかった。

・参加して良かったです。りんごの収穫体験を通して、様々な方と話して楽しく作業ができました。農業は自分に向いていると思いました。

ちようじゃこども食堂実践報告

令和5年3月7日(火)

子ども・若者の「場」拡充支援事業 レポートセッション

ちょうじゃこども食堂の概要

平成30年9月より、法人内の活動助成「社会連帯活動」を利用し立ち上げ。以降、毎月1回、八戸市長者地区を中心にこども食堂を開催。開催場所は長者公民館。地域のお母さんたちや近隣の高校に通う高校生とともに、多い時には100名程度が来場する大所帯なこども食堂を運営してきた。

コロナ禍以降は食品配布(フードパントリー)の活動に取り組む。月に1回、袋詰めした食品を取りに来てもらう形態。現在では、偶数月が「こども宅食おすそわけ便」として、奇数月はちょうじゃこども食堂独自の活動として食品の配布を実施。偶数月は60食、奇数月は30食の配布。

食品配布と並行して、こども食堂に代わるこどもたちの居場所活動として「学習会」を実施。食品配布と同日開催。半分は宿題等をする時間、半分はレクリエーション等を行う。長者公民館にて、定員15名で実施。

ちようじゃこども食堂 活動紹介

こども食堂の風景



みんなで準備

みんなで食事



こども食堂の風景

出来立ての食事



温かい食事を

こども食堂の風景



みんなで楽しく、あったかくておいしいものをお腹一杯食べよう

コロナ禍の中での活動



お弁当の無料配布

小中学校の一斉休業中、日中の児童預かりを実施する小学校と学童保育でお弁当を配布。



コロナ禍の中での活動



食品無料配布の実施



現在も継続して実施している食品の無料配布。写真は八戸学院大学の佐藤千恵子先生、社会福祉法人みやぎ会様と共催した、デーリー東北新聞社様の駐車場での食品配布。八戸工業大学第二高等学校の学生さんもボランティアで参加。

子ども・若者の「場」に関わる活動

子ども・若者の「場」に関する活動



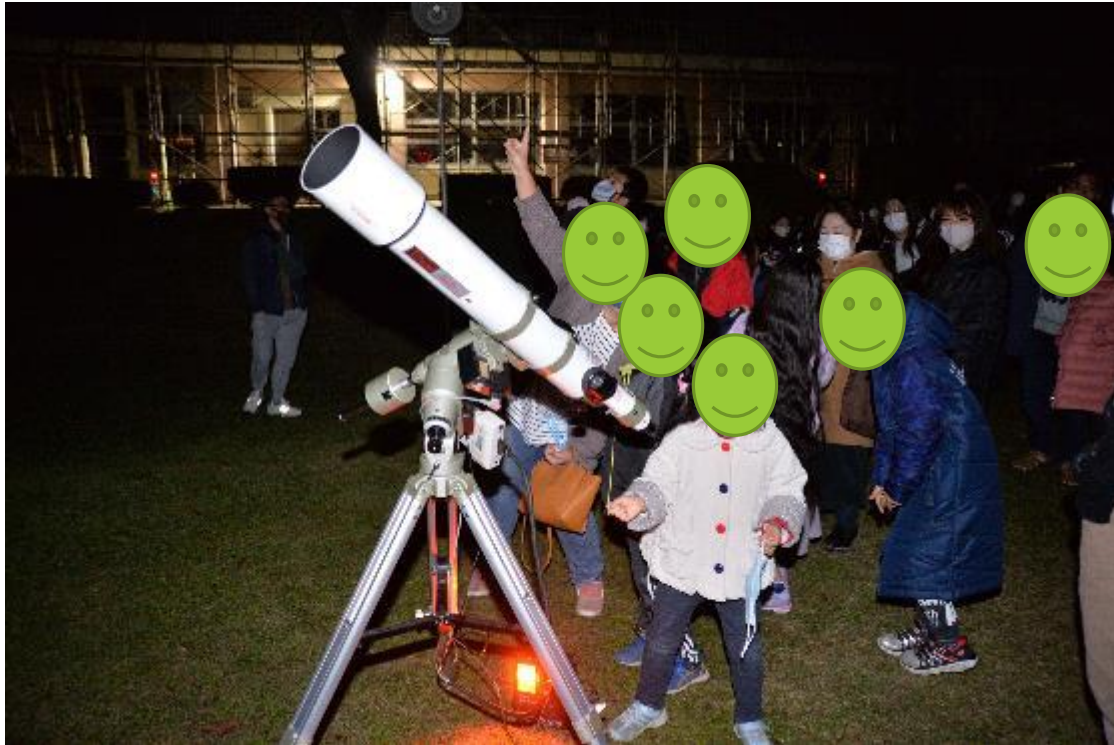
「学習会」の実施

こども食堂に代わる居場所の活動として、
小中学生の「学習会」を実施。

勉強だけでなく、クリスマス会・ハロウィーン
のような季節の行事や各種イベントも行う。

毎回、八戸工業大学第二高等学校の学生
さんを中心に高校生ボランティアにご協力頂
いている。

子ども・若者の「場」に関わる活動



星空を見たり

サッカーを見たり



子ども・若者の「場」に関わる活動



いろいろなイベント

やっています



子ども・若者の「場」に関わる活動

みんなの「やりたい!」をつつまこんだら、
こんなイベントになりました

HANG OUT FESTA

~hachinohe~

12.4 SUN

時間 10:00-16:00

場所 八戸まちなか広場「マチニワ」

※観覧無料

◆お問合せ・お申込み先
ワーカースコープ 八戸地区センター 4-1-111
〒030-0801 八戸市大森4-1-111
TEL:0182-521-1111
FAX:0182-521-1112
E-MAIL:info@wsc.jp
URL:https://www.wsc.jp/hachinohe/

◆お問合せ・お申込み先
ワーカースコープ 八戸地区センター 4-1-111
〒030-0801 八戸市大森4-1-111
TEL:0182-521-1111
FAX:0182-521-1112
E-MAIL:info@wsc.jp
URL:https://www.wsc.jp/hachinohe/

HANG OUT FESTA ~hachinohe~

日時: 令和4年12月4日(日) 10:00~16:00

会場: 八戸まちなか広場「マチニワ」

子ども・若者の「場」拡充支援事業として実施。地域の様々な方々にご協力頂き、子ども、若者をはじめとする市民が集い、楽しむことができるようなイベントを開催した。

子ども・若者の「場」に関する活動

参加企業・団体様(敬称略)

55kitchin&DELI/Haru Haru crepe/Candy. Café/yummy's FC1/タイ料理アビ/ココロードカフェ/rope/le muguet/ちよこるい/A sweete/ORDINARY/happy mouse/cue/ユヌラン/cikiciki/Liabe/八戸東高校(漫画研究会・文芸部・家庭愛好会・美術部・書道部)/出張!おやこでゲーム会/HACHINOHE DIME/ダンススタジオ『ONE MOVE』/yamapee

主催:青森県社会福祉協議会/特定非営利活動法人ワーカーズコープ

運営協力:Ring合同会社(鳴海 真緑・平川 達朗)/木村 庸江



子ども・若者の「場」に関わる活動



会場の様子。マチニワいっばいにお店、ワークショップが立ち並びました。

バスケットボールのゴールも設置。マチニワの中に。



一日中BGMを回して盛り上げて下さったDj. yamapeeさんとその仲間さんたち。

子ども・若者の「場」に関わる活動



大盛況だった東高校ブース。
開始直後から大勢のお客さん
が集まりました。

大盛況だった感じがわかりに
くいですが大盛況でした。



マチニワ手前とマチニワ脇の
ジャリニワにはキッチンカーが
計4台。お祭り感を盛り上げて
くださいました。

子ども・若者の「場」に関する活動



初めての試みで大変なことも数多くありましたが、大盛況、大成功で終わられたように感じています。我々スタッフも、振り返ってみると「楽しかった」という感想が口を突いて出てきます。

というわけで、2023年度も同様のイベントを実施したいと思っています。今回の経験を基に、よりパワーアップしたイベントにしたいと思います。

皆様のご参加、ご協力をお待ちしています。Why don't you hang out with us?

ご清聴ありがとうございました

特定非営利活動法人ワーカーズコープ ちょうじゃこども食堂

工藤 克祥

2023.03.07

2022 年度 ART PROJEKT を開催してみて

森 岩樹

【はじめに】

当初は居場所カフェの開催を考えておりましたが、コロナ禍もありカフェでは難しいと考えました。9 月以降から何人かのスタッフさんと協議を重ね、ART に関わるようなことを中心に居場所を行うこととし、11 月に第 1 回を開催しました。

ただ、ART といっても間口が広いので、自己表現の手段として各個人は何をしたいのか、ヒアリングをしてみることも必要と考え、まずは開催すること、参加した方に自由に発言をしてもらって今後の展望を探ってみることとしました。

①

2022 年 11 月 23 日(水・祝日) 弘前れんが倉庫美術館 スタジオ A
参加者 2 名 スタッフ 4 名 合計 6 名



- ・どうした ART に興味があるか？
- ・今後どのようにしたらいいか？
- ・フリートーク

このことで、声優とかアニメーションに興味を持っている方がお出でということが分かったので、弘前で声優・ドラマ朗読等をしている団体を紹介し、参加を促しました。

だがしかし…..

②

2023年2月26日(日) 弘前れんが倉庫美術館 スタジオA

参加者 4名 スタッフ 6名(講師と森を含む) 合計10名



- ・今回は、津軽塗砥ぎだし体験をしていただきました。
声優さん体験等が終了したので、では地元体験をあらためてしてもらおうと考え、津軽塗の体験を企画してみました。
- 【2回開催してみても感じた課題】
- ・参加者不足 常日頃顔を合わせている人でなければ、参加に至らない。
ただし、その人の興味が人それぞれで、それに合致しないと来ない。
(当然といえば当然だし、私自身はそれでいいと思ってもいる。
人数の多い少ないではない。)
- ・地域についての理解不足(ダサイ?)
- ・参加者がいなくても続けること、無理をしないで継続していくことこそ大事。

以上



子ども・若者の「場」拡充支援 事業報告

特定非営利活動法人あおばの会

- 八戸あおば高等学院
- フリースペースあおば
- ふれ愛・あおば食堂



八戸あおば高等学院

青森県教育委員会指定 技能教育施設

(高校生の教育にふさわしいと認められた施設)

×

3年で高校卒業

広域制 通信制高校



星槎国際高等学校

本部長 (旧札幌学習センター)

八戸あおば高等学院

- 人材派遣, 職業紹介, 人材育成のオールキャスト(株)
(現在はNPO法人あおばの会にて運営)
- 平成25年10月に開校
(卒業生97名)
- 令和5年10月に10周年





- 主な対象生徒...
 - 不登校, 高校中退者
 - 発達のアンバランスさを抱える
 - 既存の学校になじめない

など。

- 生徒の出身地
 - 八戸市, 三戸郡
 - 十和田市, 三沢市, 上北郡
 - むつ市
 - 鱒ヶ沢町
 - 岩手県洋野町, 軽米町

など。



三つの約束

人を認める
人を排除しない
仲間を作る

星槎にかかわるすべての人たちの約束です。

星槎グループHPより

共生社会の
実現のために

学校運営

大学・大学院
専門学校
高等学校
中学校
幼稚園・保育園
フリースクール
学童保育

学校等
教育事業

国内・国外
支援事業

星槎グループ

教育周辺事業

施設運営

アスレチッククラブ
総合型スポーツクラブ

各種運営

宇宙教育研究支援
学校経営・教育コンサルティング
スポーツ健康事業
地域コミュニティ FM局

国内支援

被災地を中心とする教育・医療支援

海外支援

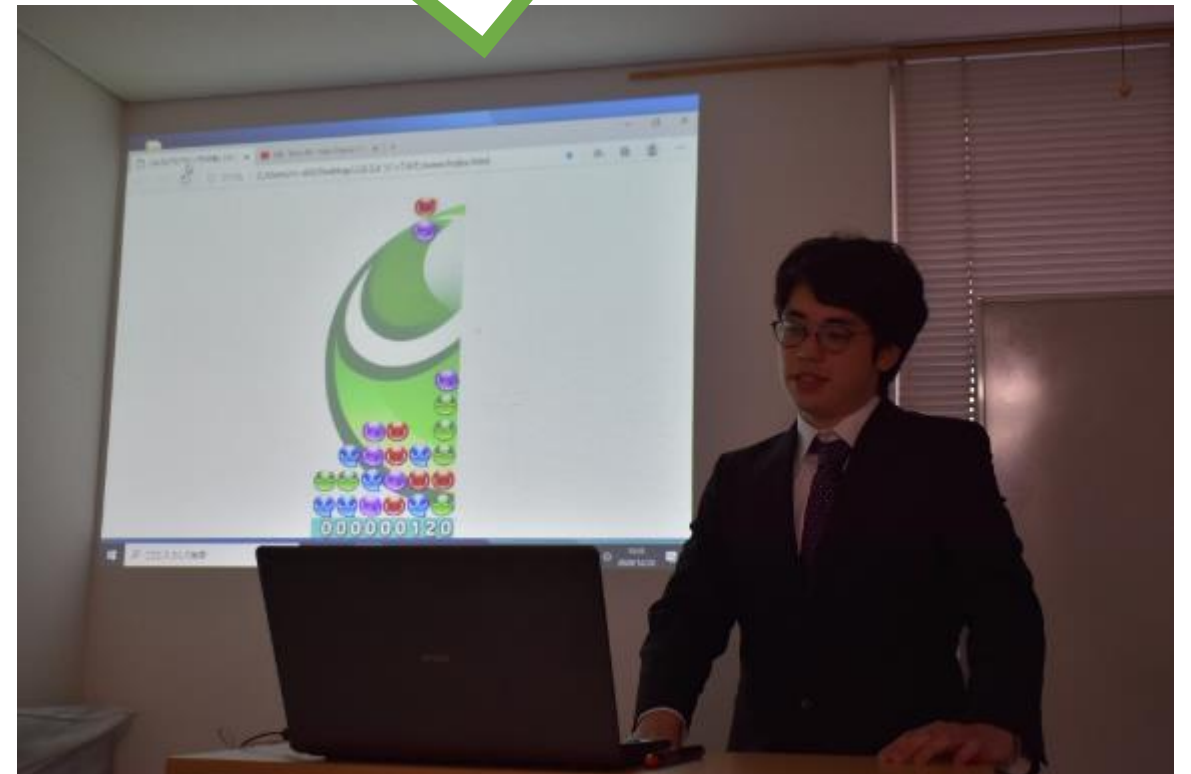
教育・スポーツ・医療・環境支援

好きを極める…ゼミ活動

ちはやふる
で話題になった
「競技かるた」



eスポーツゼミ
は「ぷよぷよ」
自作しました！



自然体験（種差少年自然の家）

自然大好き！



火起こし体験

…

ゆふいくく

乗馬・スポーツ流鎧馬体験 (十和田乗馬倶楽部)



最高～＼(^o^)／

弓も楽しい♪



FREE SPACE あおば

中高生の新しい
「第三の居場所」
として、勉強や自主的な
活動を応援しています。

【主な対象】
中・高校生年代

【活動日】
火曜～金曜
13:30～16:30

<内容>

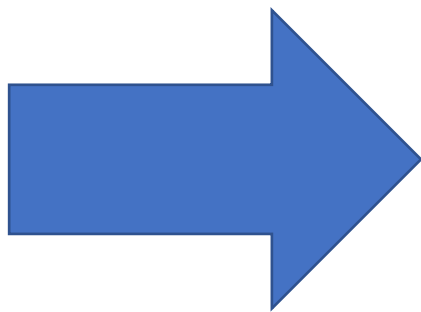
- ・(主に)中学生で学校,自宅以外の居場所を求めている生徒が利用
- ・誰かと話をしたり,さまざまなことを経験したり,勉強に取り組んだり...など(本人の自主性に合わせる)

<課題>

- ・常勤職員の空き時間で対応
→授業等で対応できず利用制限をすることも。
- ・保護者の送り迎え
→仕事の都合等で時間帯が合わず利用できないことも。

<拡充支援>

- ・専任者の確保 → いつでも!
- ・活動費用 → より幅広く!
- ・チラシ作成, 配布 → 積極広報!



問い合わせ件数

令和2年度; 11件

令和3年度; 24件

令和4年度; 26件

利用者

2人

1人

5人

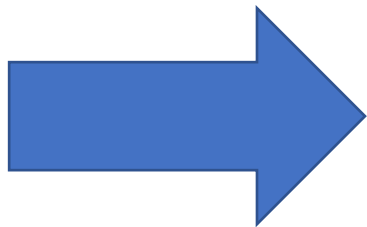
希望者への事前ヒアリングから…

◎学校に通えていないため、勉強面の不安が大きい。

→五教科を中心に中学校1年生の基礎を中心に勉強

◎保護者送迎等の都合

→土・日・祝に実施



2月19日(日), 23日(木・祝), 25日(土)

計3回

～アンケートより～

回答 中学生5人

<参加理由>

- ・興味があったから...4人
- ・楽しそうだったから...1人

<参加回数>

- ・3回...4人
- ・2回...1人



～アンケートより～

<参加してどうだったか>

- ・楽しかった...1人
- ・やや楽しかった...3人
- ・どちらでもない...1人

<また参加したいか>

- ・参加したい...2人
- ・やや参加したいと思う...3人



～アンケートより～

<感想や, やってみたいこと(自由記述)>

- ・バドミントンが苦手なので, もしやることがあっても見学したり他のことをしたい。
- ・小学校の算数を忘れていたので, 思い出せてよかった。
- ・サッカーが好きなのでやりたい。
- ・外食が苦手なので, 食べることがないことをしたい。
- ・優しく丁寧に教えてくれて, 勉強がすごく楽しめた。
- ・柔道やダンス, 身体を動かすことをやってみたい。
- ・音楽を聞きながら勉強をしてみたいと思った。
- ・小学生の問題を復習として進めたい。





八戸あおば高等学院



ご清聴
ありがとう
ございました



特定非営利活動法人あおばの会

【連絡先】

青森県八戸市柏崎二丁目7-14

☎ 0178-22-3470

📠 0178-22-3475

✉ info@hachinohe-aoba.com

<HP> <https://hachinohe-aoba.com/>

<facebook>

<https://www.facebook.com/hachinoheaoba/>

<Instagram> hachinohe_aoba

<LINE>

